

学校だより いずみだい

泉台小学校 学校通信
発行責任 校長 福田 哲也
発行日 平成29年12月22日

学校アンケート(後期)の結果について

保護者の皆様に前期に引き続き学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その結果をお知らせ致します。

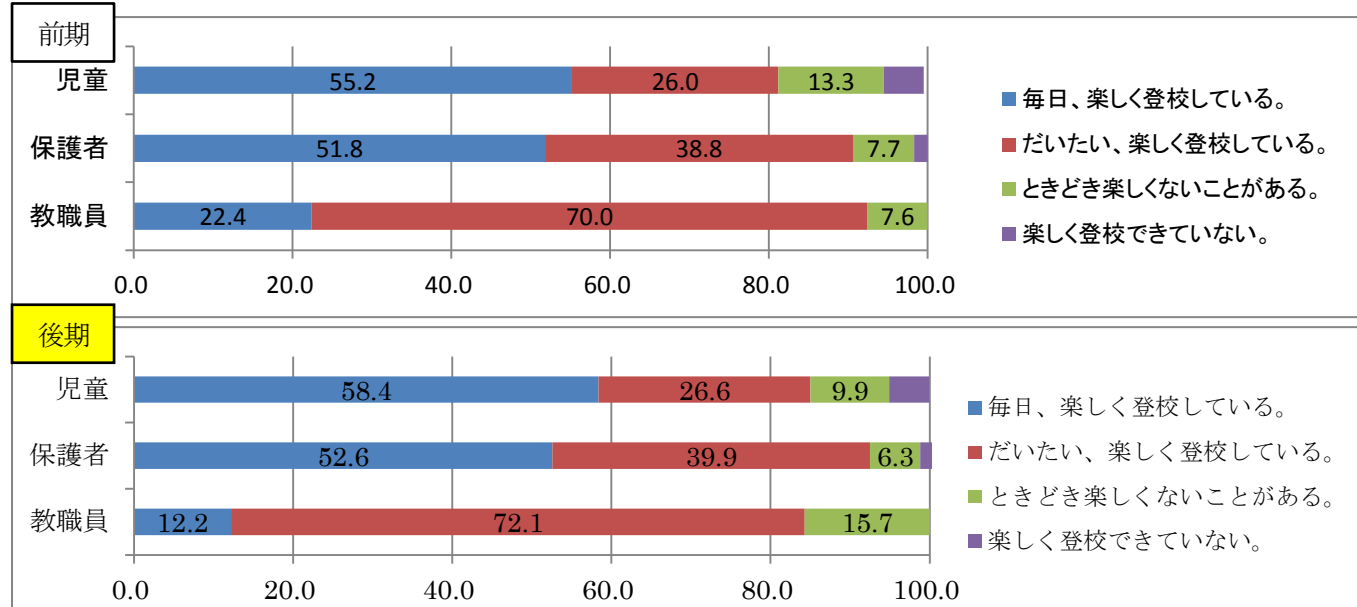
本校では、この結果を生かしながら、教育活動を行っていくよう努力してまいります。今後とも保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



アンケート結果の見方について

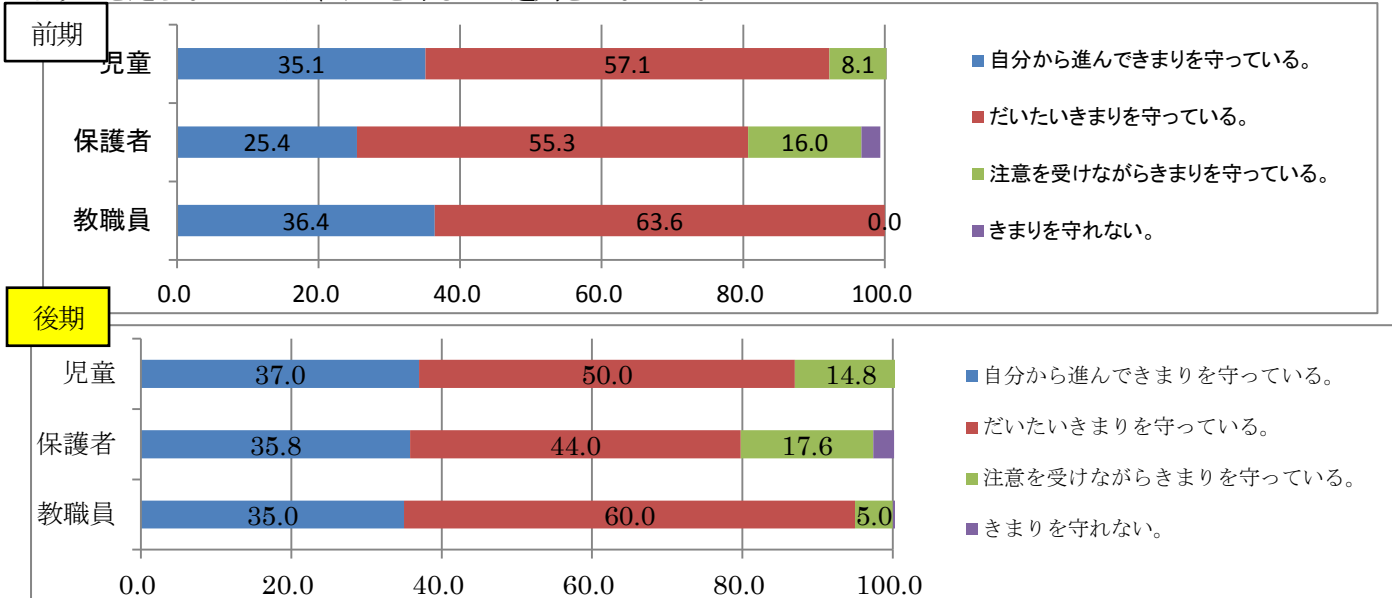
子ども、保護者、職員それぞれに実施したアンケートには、共通した項目があります。そこで、対比できるものについては各項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うか、職員は、その内容に関する指導ができているかを表しています。また、青と赤の帯が高い評価、黄緑と紫がそうではない評価という見方も一つの方法です。

1. 学校に来るときの気持ちについて

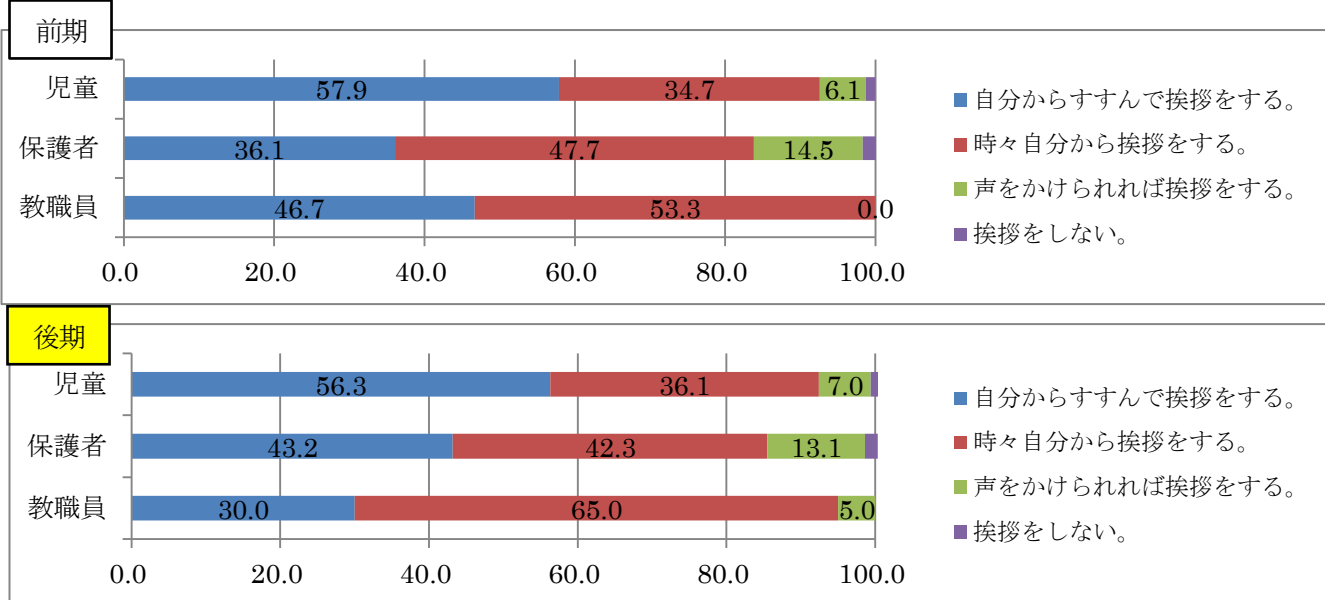


2. 学校のきまりについて

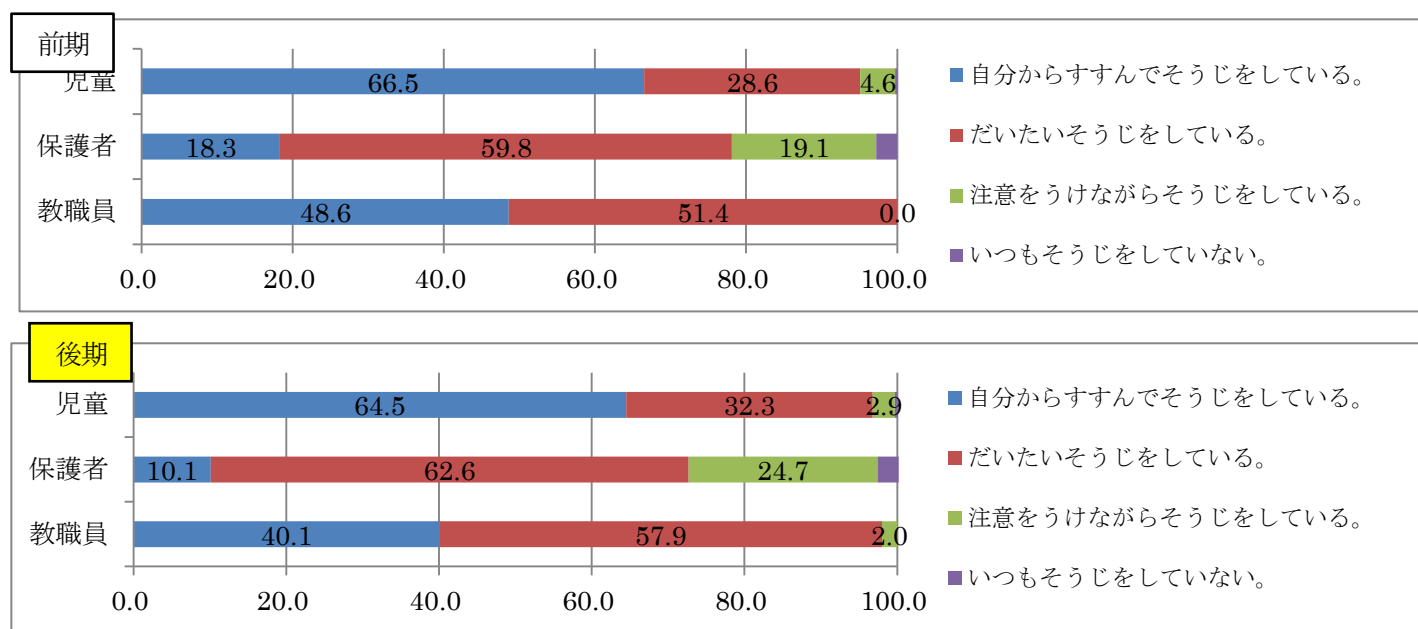
・ろうかを走らない ・チャイムを守る ・遅刻をしない など



3. あいさつについて



4. 学校のそうじについて(児童・教職員) 家庭での手伝いについて(保護者)



アンケートの分析

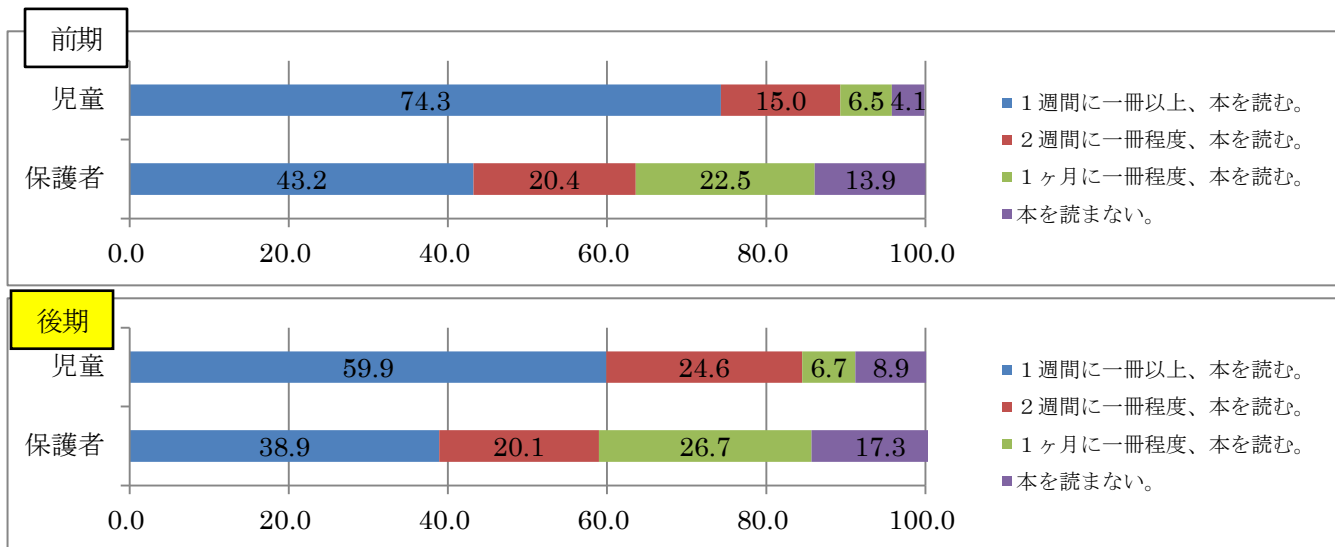
1 学校に来るときの気持ち 85%の児童、93%の保護者、84%の教職員が、おおむね「楽しく登校している」と選んでいます。前期と比べ、児童と保護者は向上しています。2学期は学校行事等で、様々な児童に活躍の機会が多くあり、充実していた結果だと考えられます。しかし、朝、登校が遅かったり、欠席しがちだったりする児童がいます。引き続き家庭と学校が連携していくことにより、児童が楽しく登校できるようにしていきます。保護者の方には、8:20までに遅刻・欠席の連絡を確実にお願いします。

2 学校のきまり 前期と比較して、児童の「きまりを守る意識」は、後退しています。保護者・教職員の見方では、前回同様であることから児童の「気のゆるみ」が気になります。学校全体で落ち着いた生活が送られている今だからこそ、よりよい泉台小学校になるよう積極的な指導をしていきます。

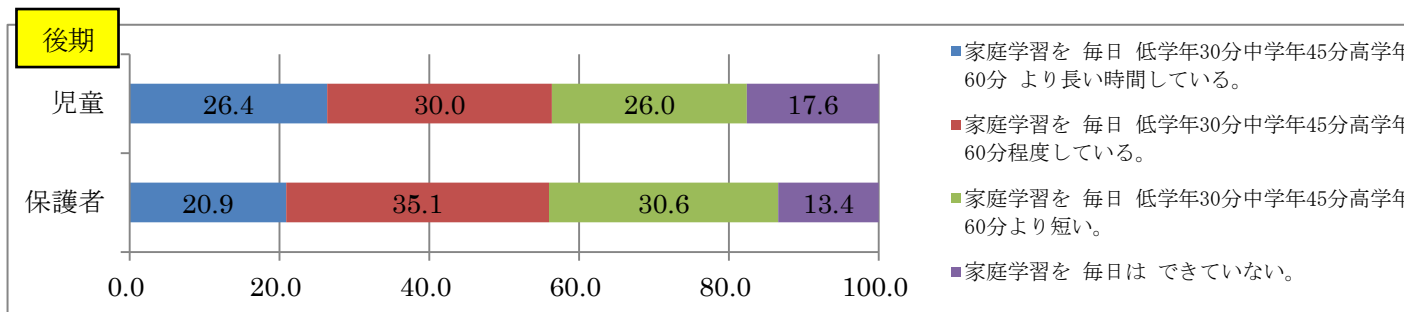
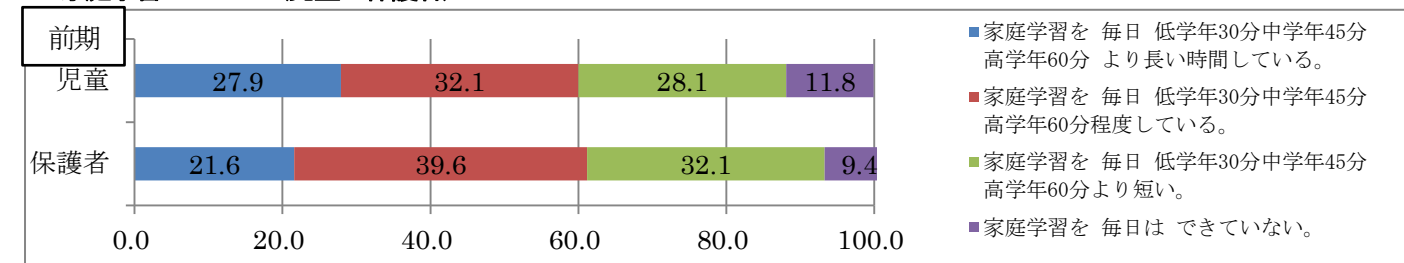
3 あいさつ 児童・教職員の90%以上、保護者の約85%が「挨拶はできている」と評価しています。前期と比べやや向上している様子が伺えます。毎月0の付く日に実施している「全市一斉あいさつの日」の取り組みが定着してきたあらわれのようです。教師・保護者など大人の方から声をかけていただくよう心がけていきましょう。言葉遣いについても全校で継続して指導していきます。

4. 清掃・手伝い 児童・教職員は、校内での掃除時間のことについて評価しました。約95%が、おおむね掃除はできているという評価です。後期になって「自分からすすんで掃除をしている」児童が減っています。自分たちの学校は自分たちできれいにしていく奉仕の心をさらに育てていきます。家庭での手伝いや掃除については、いつも自分からできる児童が10%程度です。年末を迎えるこの時期、ご家庭で掃除などの手伝いを一緒にするなど体を動かす機会を増やしてみたいかがでしょうか。

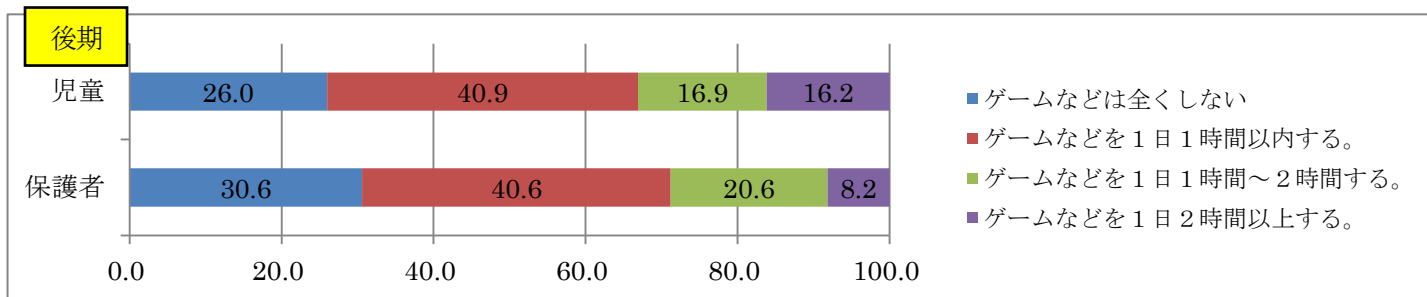
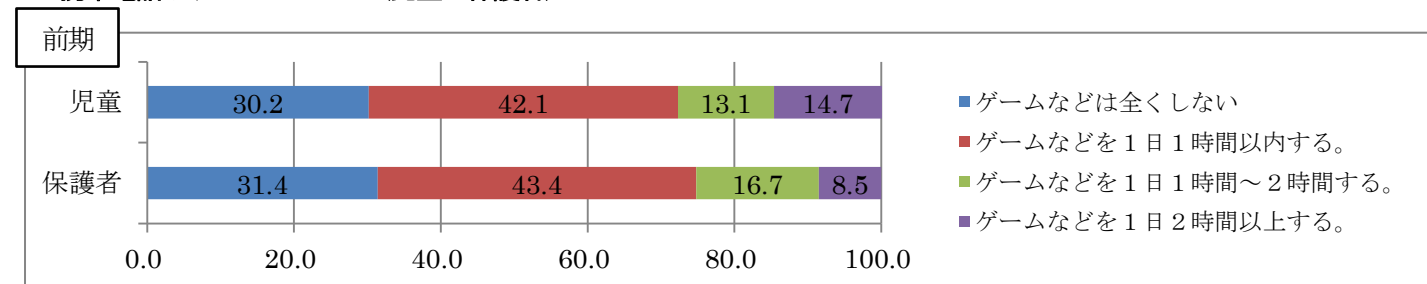
5. 読書について（児童・保護者）



6. 家庭学習について（児童・保護者）



7. 携帯電話やゲームについて（児童・保護者）



アンケートの分析

5 読書 児童は「朝の読書」や学級での読書を考えて評価し、保護者は家庭での様子を考えて評価しているようで、大きな違いが生じています。前期と比べ「週に1冊以上読む」児童、保護者は減少しています。これは、高学年の児童が読書する時間が十分にとれずいたり、大作（厚い本）に取り組んだりしたため、冊数が増えなかったことが理由の一つと考えられます。国語科の学習の発展で教科書教材に関連した作品を「並行読書」させる取り組みを継続しています。

6 家庭学習 56%の児童は、各学年の発達段階に応じた家庭学習をしています。より長い時間頑張っている児童が26%程度いる一方、時間が短かったり、学習しなかったりする児童も約44%います。また、後期になり「毎日ではできていない」と答えた児童、保護者が増えています。宿題等に加え、自分の得意なことを伸ばしたり、得意でないことを克服したりする自主学習の時間を設定し、自学学習の習慣を身に付けていきましょう。

7. 携帯電話やゲーム 前期よりも、児童・保護者ともに1時間以上の割合が増えています。また、33%の児童が1時間以上しています。日本大学文理学部の森沼雄教授（脳神経科学）によると、「①人間らしい感情や創造性をつかさどる脳の前頭前野の活動が、テレビゲームをする時に目立って低下する、②ゲーム時間が長い人ほど低下の程度が大きく、ゲームをしなくても活動レベルが回復しない」そうです。そして、森教授は、「ゲーム脳」と名付け、「情操が育まれる児童期にはゲームの質や時間に気を配って欲しい」と警告しています。

★ 1学期末の集計の結果と比べ、テレビやゲームの時間が増え、家庭学習の習慣が身に付いていない児童がいるという結果が出ました。日が暮れるのが早くなり、家庭で過ごす時間が長くなっています。家庭での過ごし方の約束をもう一度確かめてください。小学校期により生活習慣を身に付けさせることが、中学校・高校生活により影響を与えます。よい生活習慣が子どもたちの一生の宝となります。ご協力をお願いいたします。

保護者アンケートより

○給食の食べる時間が20分程度とのこと。もう少し時間があるとしっかり噛んで食べられると思います。
→ 給食時間は準備等（配膳・返却）を含め、45分です。特に、低学年などは準備にも時間がかかります。日々、しっかり咀嚼すること等、食育指導をしています。メニューにより時間内に厳しい場合は、少し時間を延長するなど個別に対応しています。

○自分たちが子どもの頃は、ランドセルが軽く走って登校していたが、今は重く、足取りまで重く見えます。成長期でもあるので軽く、心まで軽くしてあげたいです。
→ 使用する教科書やノートなど昔と比べ、大きく増えていることはありません。学校では、毎日、時間割を行うことで余分なものまで持たなくてよいように指導しています。

○夏のプールの回数をもっと増やしてほしい。学習発表会はよかった。
→ どの学校も学習指導要領に基づいて授業内容を組んでいます。学年によって違いはありますが、水泳の授業時数は8～10時間です。回数にすると4～5回実施することになります。

○家庭学習がんばりカードを毎月出してほしい。本人の意欲につながる。
→ ご家庭でも協力していただきましてありがとうございます。意欲につながるよう、3学期は欠かさず出していきます。

○家庭ではできない川遊びをさせてもらい、楽しかったみたいです。

○ウォークラリー集会（縦割り活動）が楽しかったようです。学年を超えてのよい関係ができていると思います。（他3）